

インターアクトクラブ

次期リーダー講習会に参加しました

2015.11.23

淡路島の洲本市にある柳学園高等学校で開催された、インターアクトクラブ次期リーダー講習会に参加しました。県内のインターアクトクラブの生徒が参加して、放置竹林問題について学習しました。淡路島では、年間で、甲子園球場8個分に相当する面積の放置竹林が増加しており、森林を侵食したり、イノシシが増える原因となったりするなど、多くの竹害が起こっているそうです。かつては日本人の生活に身近で、タケノコや竹細工などに利用されていた竹も現在はその利用量が激減したため、こういった問題が起こっているそうです。現在、竹チップをつくり、それをボイラーの燃料に利用する試みがなされているそうです。放置竹林の問題は淡路島だけでなく、私たちの住む丹波市でも問題になっており、私たち自身も考えていかなければならない問題だと感じました。ワークショップでは、竹と廃食用油を利用したろうそく作りを行いました。

今回の研修会は、自然との共生を考える大変良い経験になりました。柳学園インターアクトクラブの皆様、顧問の先生方、ありがとうございました。



開会式



放置竹林対策についての講演
(淡路県民局 環境参事 大谷氏)



廃食用油を使った、ろうそくづくり



防災ろうそく（完成品）